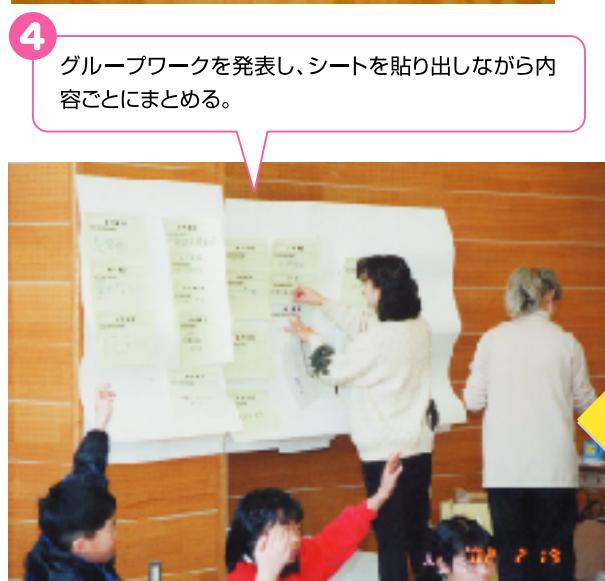
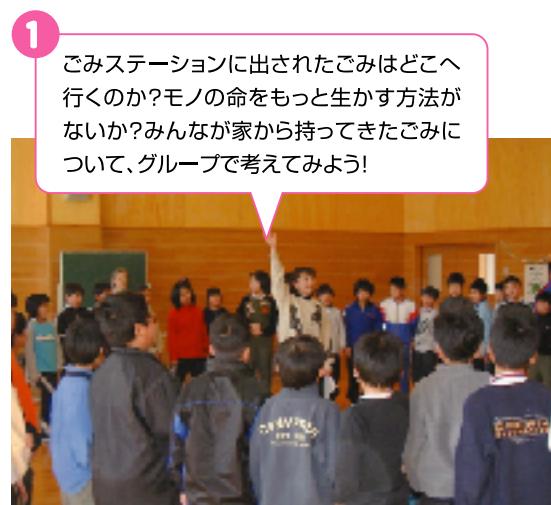


# 「モノの山…どう使う?どう捨てる?」

■実施校 井吹西小学校(西区)  
 ■対象 小学校5年生 4クラス  
 ■実施日 平成14年2月19日  
 ■所要時間 約90分  
 ■講師 コープこうべ環境問題研究会 内藤祐子、杉山千景、鈴木洋子  
 ■授業内容 身近な物を使って、資源の大切さを知るとともに、「3つのR」の意味を学ぶことで自らの生活を見直し、資源活用の方法を学ぶ。



5

「Reuse」「Recycle」「Reduce」って何だろう?  
この3つのRが大切なんだよ。



6

各グループのスペシャルのモノについて、「3つのR」の視点で意見を分類してみよう。



7

今日の学習から、これから実行しようと思うことを考えてシートに記入しよう。



どのように分類できたかな? みんなに発表しよう! 他のグループの意見から自分たちでは気づかなかつた新しい発見も!



## プログラム例

# 「モノの山」・・・・どう使う?どう捨てる?】

くねらい> ・モノの役割が終わったときにどうなるかを知る。  
・ゴミにしない方法について考え、買い物の仕方が出发点ということに気付いてもらう。  
・環境に優しい暮らし方の一つとして、「3つのR」の大切さを学習する。

時間	( 分)	内 容		ツール	担当	備考
9:00	(5分)	あいさつ ・講師紹介 ・趣旨説明				
9:05	(10分)	グループ分け ・日常生活にかかわる問題、ゴミ問題など4問 (+α) で、グループ分け。 ・いつもの仲良しグループにならないようにする。 ・1グループ8人				
9:15	(1分)	グループワーク ①導入	・ゴミの収集日に、ステーションに出されたゴミは、 ・パッカー車で集められてどこに行くのか知っていますか? ・「焼却場」で燃やされるか、「埋立地」で土の中に埋められるか。 ・せっかくのモノの命をもつつかず方法がないか考えてみましょう。 ・今日は自分の家で捨てようか迷っているものを持ってきてもらいました。 これから各グループでいくつかのモノの活かし方についてみんなで考えて もらいますが、みんなの前に並んでいるなかのこの3種はみんなで考えます。 この3種以外にグループとして何を考えるかひとつつ決めてください。 ・グループごとに、それぞれのモノの行方にについて考える。4種類 規定のモノ 3種 (ペットボトル、生ゴミ、本雑誌) グループごとのスペシャル 1種 記入シート用意して書き込んでもらう。	モノの山(前に並べておく) ペットボトル、缶、紙パック、トレイ 卵パック、ビン、生ゴミ、本、雑誌 電話帳 古着、ぬいぐるみ、おもちゃ 空き箱、空き缶、包装紙、リボン ...など	ルールの確認 スペシャルが決まらない時は サンプルから提供	
(5分)	(2)スペシャルの 決定			記入シート(裏紙を使用のこと) ・捨てなくてもいい方法は ・使った後は ・1人が ・グリーブ ・セロテープ ・タイムキーパー		
(20~25分)	(3)モノのいかしかた について考える			サインペン(裏に移らないもの) セロテープ		
9:45	(30分)	グループワークの 発表と説明	・ホワイトボードの模造紙に、「使わなくともいい方法」「使った後の方法」の項目に わけ、記入シートを貼り出しておく。 ・まず、「ペットボトル」「生ゴミ」「本雑誌」の3種について聞いてゆく ・「使った後の方法」には、「Reuse」と「Recycle」ととに分かれることを説明する。 ・「Reuse」「Recycle」「Reduce」についての解説。 ・各グループのスペシャルのモノについて、「3つのR」の視点で分類する。 (グループごとに)	発表用シート添付用の表(模造紙) 全体用3種+各グループ一枚 リサイクルのポスター リサイクル商品 (Tシャツ、エプロン、定規、古紙の トレンディーペーパー、ティッシュ、文具など) リユースの良い事例かでない 場合の予備の準備		
10:15	(15分)	まとめ	・今日の学習をしてみて、これから実行しようと思うことをエコチャレンジシートに記入。 ・エコチャレンジシートの説明。 環境の学習はいろいろな分野でできる。このシートの色々な環境問題のワードに チャレンジしてください。 ・「環境の学習をした」項目にはんこ押をして、「こどもかんきょうバッカ」を渡す。	エコチャレンジシート こどもかんきょうバッカ エコチャレンジシートクリア証明のはんこ		
10:30				全員		